

事務事業名		観光施設維持管理事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業																										
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																										
	施策名	05 豊かな地域資源を活用した観光の振興																												
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 ー 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																										
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 07 01 04 11 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																										
所属	部課名	商工港湾部観光推進室																												
	課長名	千葉 譲																												
	係 名	電話	27-3111																											
	担当者	高田 航輔	内線	160																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市内各所の市管理観光施設等の適切な維持管理を行う。 市内の観光関係施設及び海水浴場を安全で快適に利用してもらうため、施設の清掃や草刈及び海水浴場の維持管理を行う。また、自然保護管理員を委託し、国立公園に指定されている碁石海岸及び三陸町全域、県立自然公園に指定されている五葉山を適切に管理する。																														
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="8">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="3">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)			0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
	事業費計 (A)	0																												
	人件費	正規職員従事人数																												
		延べ業務時間																												
人件費計 (B)		0																												
トータルコスト(A)+(B)			0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

- ・現場での状況確認、修繕工事、草刈業務委託
- ・自然保護管理員委託業務
- ・台風19号の影響による碁石海岸の倒木処理

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

- ・現場での状況確認、修繕工事、草刈業務委託
- ・碁石海岸園地外風倒木処理、自然保護管理員委託業務 他

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市内観光関係施設

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

適切に維持管理される

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

- ・大船渡市を訪れた方に魅力を感じてもらい、リピーターになってもらう。
- ・大船渡市の魅力がPRされ、認知度が高まる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
アー	ー
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 観光入込客数(暦年)	千人
キ 海水浴場来場者数	人
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 苦情・不具合件数	件
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
		単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
	財源内訳	都道府県支出金	千円	2,679	2,355	2,548	2,365	2,418
		地方債	千円					
		その他	千円				239	8,736
		一般財源	千円	12,098	10,935	11,293	28,144	11,900
		事業費計 (A)	千円	14,777	13,290	13,841	30,748	14,529
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	128	128	128	128	128
		人件費計 (B)	千円	512	512	512	512	512
		トータルコスト(A)+(B)	千円	15,289	13,802	14,353	31,260	15,041
⑤活動指標		ア	ー	ー	ー	ー	ー	ー
		イ						
		ウ						
⑥対象指標		カ	千人	882	730	707	697	789
		キ	人	0	0	1,051	3,918	4,634
		ク						
⑦成果指標		サ	件	15	0	4	0	0
		シ						
		ス						

事務事業ID	0465	事務事業名	観光施設維持管理事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和39年に陸中海岸国立公園に基石海岸が編入されたことを契機として観光客が増加。その利便を図るための観光施設整備に付随し維持管理が必要になった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
施設の経年劣化があり、特に利用者の多い公衆トイレ等の施設では消耗している部品の修理、交換が多くなってきている。
施設によっては廃止や取壊を検討している場所もある。
きれいで施設が整備された観光地に観光客が集まるようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
施設の維持管理について継続して実施してほしいと要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	観光施設を良好な状態で維持管理することにより、観光客の利便を図ることとなるほかイメージアップにもなり、リピーターの増加に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	公共施設を良好な状態で維持管理することは市の義務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	対象は市内観光施設であり、その維持管理を行うことで間接的に観光客を対象とする事業である。修繕工事等によって施設の維持管理を図るため、意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	経年劣化等により修繕を要する施設等が増加してきている。 今後、インバウンド関係で観光客を誘致するとすると、施設の維持管理が重要となると考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	本事業を廃止・休止した場合、施設を良好な状態で維持できなくなり、苦情や不具合が増加すると考えられる。結果的に観光客の減少に繋がる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	専門的な知識・能力が必要なものを以外は職員で対応しておりコストを低く抑えていることから、これ以上の削減は出来ない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	コスト低減のために専門能力以外は職員で対応しており、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	観光客をはじめ、施設を利用するすべての人が受益者であり公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止																							
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 (一社)大船渡市観光物産協会の観光支援員と連携し、観光施設を定期的に巡回点検し、不良箇所の早期発見、対応をしていく。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	・市観光物産協会等の関係機関と連携し、定期的な巡視等を行いながら、不具合箇所については迅速な対応に努める。